

<白金標準、新甫 10 月限は N 波動の 4469 円狙い・・・>



(出所：オアシス)

ドイツ製造業 PMI、ユーロ圏製造業 PMI が好不景気の 50 を下回り、ユーロ圏の景気後退懸念が高まりを見せ、また中国では碧桂園（カントリーガーデン）のドル建て債を管財人であるシティコープ・インターナショナルはデフォルト事由の該当すると発表している。そのため金価格が地政学的なリスクの高まりで 3 週間で 989 円の上昇に比べ、白金価格は 3 週間で 283 円の上昇を行なうなど、ユーロ圏や中国の経済情勢が上昇の足を引っ張る要因に結び付いている。しかし米国第 3 四半期 GDP・速報値が 4.9%と大きく上昇し、イエレン財務長官は「ソフトランディングの兆候がある」と述べており、景気商品である白金価格にはポジティブな要因になっている。また大手プラチナ鉱山のアングロ・アメリカ・プラチナは第 3 四半期の PGM 生産量が 9%低下し、28.2 トンと発表するなど 2023 年の供給不足を回避する事は難しい状況である。そのため景気に対する不確実性の高まりは存在するが、それでも 4300 円を維持するなど底堅い値動きを続けており、中東情勢における地政学的なリスクが後退すると金価格と逆に 4400 円へ向けた動きが強まると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り上げながら、**シグナル**も上昇している。RCI は**短期**が切り下げながら、**長期**は上昇を続けている。また日足が **200 日移動平均線**で抵抗を強めており、押せば買われる動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,210,000 円(2023 年 10 月 30 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2023 年 10 月 30 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>